



探訪

火焚神事

(阿蘇の農耕祭事)

火焚神事は、8月19日から10月16日まで、霜



新築された霜神社火焚殿

神社の火焚殿で農作物に霜の被害がでないよう、火焚乙女が火を燃やし続ける神事です。上役犬原・下役犬原・竹原地区の氏子による輪番制で代々受け継がれています。

火焚神事には、次のような神話が伝えられています。

「阿蘇を開拓した^{たけいわたつのみこと}健磐龍命は、毎日のように弓の稽古をしていました。家来の鬼八は九十九本までは命に矢を拾い届けましたが、百本目の矢は疲れて蹴り返しました。これに命は腹を立て、逃げる鬼八の首を切ると、その首は天に昇りました。鬼八は首の傷が痛むため、早霜を降らせて人々を困らせました。^{みこと}命は、鬼八の恨みを鎮めるため、霜神社を建てて鬼八を祀り、火焚行事を始めました。」

全国市議会議長会表彰者



古木孝宏議員 (文教厚生常任委員長) 山本章夫議員 (総務常任委員長)

田中則次議員 (市議会副議長) 高藤拓雄議員 (市議会議長)

5月26日に開催されました第86回全国市議会議長会において、市議会議員として永きにわたり地方自治の発展と振興に貢献された功績により、上記4名の方が10年表彰を受けられました。

表彰規定によりますと、町村合併により市制を施行した町村の議員の勤続年数は、特例により2分の1を市議会議員の勤続年数に加算することができます。上記4名は、平成17年2月の合併以前の町議会議員の勤続年数の2分の1と合併以後の勤続年数を併せて市議会議員として10年を経過したことになり、今回の表彰となりました。



広報委員 井手明廣

6月定例議会も15日間の熱心な審議が行われ、議会たより「かるでら」は節目の20号目となりました。市民の皆様にあるのままを記事にして、分かりやすく、読みやすい紙面づくりに務めています。どうぞ隅々までご愛読いただきませう。後記といたします。

編集後記